

# 復興のバトン



第1回 キッズ防災マイスター

米沢多恵さん(陸前高田市)



「防災のことを周りの人や友だちに伝えていきたい」という多恵さんと、薄れることのない津波の記憶を自ら「語り部」として伝えている父の祐一さん。(被災した米沢商会ビルにて)

さまざまな災害に備えて

伝えていきたい!

命を救う

防災の大切さ

陸前高田市では、東日本大震災津波による被害を教訓に、2018年度から、防災に関する知識や技術を持つ地域の防災リーダー「陸前高田市防災マイスター」の養成講座を実施しています。その講座に参加し、2019年度「キッズ防災マイスター」として認定されたのが、米崎小学校4年の米沢多恵さん(9)です。

父の祐一さんが講座を受講する際、連れられて行ったのをきっかけに、防災に強く興味を持つようになった多恵さんは、翌年度、自ら受講を希望。難しい講習に一生懸命向き合い、認定書とバッジを手に入れました。



米沢商会新店舗にて、認定バッジと認定書を見せてくれた多恵さん

「災害が起きた時に役立つし、いざというときに命を守るから、みんなにも防災を知ってほしい」と多恵さん。今は防災介助士や防災士の勉強に取り組み、さらに防災への知識を高めています。

自身も被災経験者であり、2018年度に防災マイスターになった祐一さんは、「未来はこの子たちの世代のもの。防災に対して高い意識を持ち続けて欲しい」と、娘の姿を優しく見守ります。



津波に直撃されながらも奇跡的に残った、鉄筋3階建ての米沢商会のビル。このビルのでっぺんに逃げ九死に一生を得た祐一さんは、「思い出も詰まっている。津波の恐ろしさを伝えるためにも残していきたい」と自費で建物を保存・管理しています。

## 「より良い復興～4本の柱～」

- I 安全の確保**
  - ① 防災のまちづくり
  - ② 交通ネットワーク
- II 暮らしの再建**
  - ① 生活・雇用
  - ② 保健・医療・福祉
  - ③ 教育・文化・スポーツ
  - ④ 地域コミュニティ
  - ⑤ 市町村行政機能支援
- III なりわいの再生**
  - ① 水産業・農林業
  - ② 商工業
  - ③ 観光
- IV 未来のための伝承・発信**
  - ① 事実・教訓の伝承
  - ② 復興情報発信



### 参画

男女共同参画や若者・女性高齢者・障がい者などの活躍、幅広い市民活動や県民運動など、幸福の追求を支える仕組みが整っている岩手



### 社会基盤

防災対策や産業振興など幸福の追求を支える社会基盤が整っている岩手



### 自然環境

一人ひとりが恵まれた自然環境を守り、自然の豊かさとともに暮らすことができる岩手



### 歴史・文化

豊かな歴史や文化を受け継ぎ、愛着や誇りを育んでいる岩手



### 仕事・収入

農林水産業やものづくり産業などの活力ある雇用のもとで、安定した雇用が確保され、また、やりがいと生活を支える所得が得られる仕事につくことができる岩手